



基本領域 脳神経外科専門研修

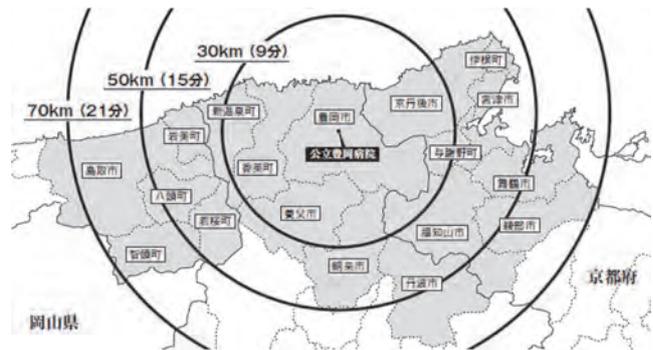
連携

- 脳神経外科専門研修 神戸大学医学部プログラム

1. 脳神経外科の理念・特色

原則的に脳神経外科領域の疾患すべてに対応が可能で、脳外科医が初期治療から直接対応できる体制を24時間365日にわたりとっています。

但馬地域を広くカバーする基幹病院に相応しい、高度の診療レベルを維持すべく、最新の機器を取り入れ、症例や患者個々の特性を鑑み、できる限り低侵襲で、最適な脳外科的治療を行うよう努めています。



(病院 HP ドクターヘリ情報提供より)

2. 目標・プログラム

公立豊岡病院において脳神経外科を研修する専攻医には下記にあげる脳神経外科疾患の知識や診断・治療技術を習得することを目指します。

脳血管障害

緊急・急性期対応として、くも膜下出血や脳出血、脳梗塞などの脳卒中に対し、救命救急センターや脳神経内科と協力し、24時間体制で、積極的に診断・治療にあたっています。救急車のほか、ドクターヘリやドクターカーも利用し、国内でもトップクラスの搬送・対応件数を誇ります。日本脳卒中学会認定一次脳卒中センター(PSC)および研修教育施設として、実績を重ねています。

具体的には、脳動脈瘤に対するクリップないしコイル塞栓、脳出血に対する開頭ないし内視鏡下あるいは定位的血腫除去、超急性期脳梗塞に対する血栓溶解(t-PA 静注)療法や経皮的血栓回収術、虚血性脳障害に対するバイパス手術、頸動脈狭窄に対する内膜剥離術(CEA)ないしステント留置術(CAS)などに豊富な経験を有します。これらの病態・病状に応じ、開頭手術やカテーテル治療、内視鏡手技など、最適な治療を選択し、提供します。

急性期加療収束後には、経過に応じ、リハビリテーションを積極的かつ継続的に行なえるよう、院内から地域の回復期リハビリ病院などとの連携も行っています。

脳腫瘍

脳腫瘍は、その発生部位や大きさ、形状、良性/悪性を含めた病理学的特性などにより、多種多様な症状・病勢を呈します。このため、正確な診断とともに、その結果に応じた治療選択が必要です。

具体的には、脳実質から発生するものとして、神経膠腫(グリオーマ)や悪性リンパ腫、転移性腫瘍などがあり、脳実質外(脳の周囲の膜や関連組織)から発生するものとして、髄膜腫、神経鞘腫、下垂体腺腫などがあります。一般的に、脳実質から発生したものは悪性が多く、脳実質外から発生する腫瘍は良性が多い傾向があります。

CT/MRIなどの画像評価はもとより、診断的あるいは治療的意義として、開頭、内視鏡、定位手術など様々なアプローチによる外科的専門的介入(代表的には、開頭腫瘍摘出術、広範囲蓋底腫瘍摘出術、内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術、軟性内視鏡下脳室内腫瘍生検術、定位的脳生検術など)を行います。これによる病理診断結果などに応じ、放射線治療や種々の化学療法など、必要な追加治療を施します。

頭部外傷

主として、意識障害や生命の危機を伴うような重症頭部外傷(急性硬膜外血腫、急性硬膜下血腫など)に対し、緊急手術のみならず、頭蓋内圧モニタリングを用いた急性期管理などを駆使し、救命および機能予後改善/回復へ向けた多面的な治療を行っています。

また、但馬医療圏の特性として、高齢者を主とする慢性硬膜下血腫症例(転倒などによる軽微な頭部打撲後に、1~3か月の経過を経て、脳と硬膜の間にゆっくりと血が溜まり、脳を圧迫するもの)も多く、穿頭血腫ドレナージ術により、時に治療可能な認知症として、良好な治療成績を得ています。

脊椎・脊髄疾患

脳と同じく中枢神経である脊髄を守り、神経学的予後の改善を図るべく、脳腫瘍同様に、主として、硬膜内や脊髄実質に生じる腫瘍(髄内腫瘍)に対し、手術加療や、放射線・化学療法を行っています。

小児脳神経疾患

産婦人科、小児科の基幹病院でもある当院においては、水頭症などの小児神経学的疾患への対応も必須です。神経内視鏡下第三脳室底開窓術(ETV)やシャント手術など、最新の技術・医療機器を用いた小児脳外科治療にも対応しています。

機能的疾患

上記の小児水頭症のみならず、成人での二次性水頭症や特発性正常圧水頭症に対する外科的治療についても、もちろん対応を行っています。

また、痙性麻痺(脳や脊髄の傷病による後遺障害として、四肢や体幹の筋肉の緊張が亢進してしまう状態)に対し、バクロフェン髄注療法(ITB)の導入・調整に関する対応が可能です。

3. 週間予定

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日/日曜日
8:30	回診	回診	回診	回診	回診	
午前	脳血管撮影	手術	血管内治療	手術		回診(当番)
午後	脳血管撮影	手術	血管内治療 脳血管撮影	手術	リハビリ回診 (隔週)	
	画像カンファレンス	画像カンファレンス	画像カンファレンス	画像カンファレンス	画像カンファレンス	

※画像カンファレンス内で術前・術後の症例検討あり

4. 指導医・スタッフ

<p>部長 <small>なかい ともあき</small> 中井 友昭</p> <p>大学卒業年 2004年卒</p> <p>博士(医学) 神戸大学2013年</p> <p>専門 脳脊髄腫瘍, 神経内視鏡手術, 重症頭部外傷, 脳血管障害</p> <p>認定 日本専門医機構認定脳神経外科専門医, 日本脳神経外科学会指導医, 日本脳神経外傷学会指導医, 日本脳卒中学会専門医・指導医, 日本神経内視鏡学会技術認定医, 日本脳神経外傷学会認定指導医</p>	<p>医長 <small>やまもと ゆうすけ</small> 山本 祐輔</p> <p>大学卒業年 2007年卒</p> <p>博士(医学) 神戸大学 2018年</p> <p>専門 脳神経外科疾患全般, 脳血管障害, 脳血管内治療</p> <p>認定 日本専門医機構認定脳神経外科専門医, 日本脳神経外科学会指導医, 日本脳神経血管内治療学会専門医</p>	<p>医長 <small>なかむら なおと</small> 中村 直人</p> <p>大学卒業年 2014年卒</p> <p>専門 脳神経外科疾患一般, 脳血管障害, 脳血管内治療</p> <p>認定 日本脳神経外科学会専門医, 日本脳神経血管内治療学会専門医, 日本脳卒中学会専門医</p>	<p>医長 <small>ふじた けんじ</small> 藤田 健嗣</p> <p>大学卒業年 2017年卒</p> <p>専門 脳神経外科疾患一般, 脳血管障害</p> <p>認定 日本脳神経外科学会専門医</p>
<p>医員 <small>いけお りょうすけ</small> 池尾 諒介</p> <p>大学卒業年 2021年卒</p> <p>専門 脳神経外科疾患一般</p>	<p>医員 <small>あおき ちひろ</small> 青木 智洋</p> <p>大学卒業年 2022年卒</p> <p>専門 脳神経外科疾患一般</p>		

5. 診療設備等

- 手術用顕微鏡 オリンパス OME-9015-N1-IR, ZEISS Rovotic Visualization System KINEVO®900
- 脳血管撮影装置 フィリップスジャパン Allura Clarity FD 20/15
- ナビゲーションシステム BrainLab Kick ナビゲーション, Medtronic Stealth Statin S8
- 脳神経内視鏡 オリンパス VISERA 4K
- 手術支援ロボット Medtronic Stealth Autoguide(県内初導入)

6. 診療実績

手術症例数(2023.1～2023.12)

脳動脈瘤直達手術	17例	脳腫瘍摘出術	13例
脳動脈奇形摘出術	0例	経鼻蝶形骨洞手術	4例
血行再建術	4例	急性硬膜外血腫	2例
頸動脈血栓内膜剥離術	0例	急性硬膜下血腫	2例
バイパス手術	4例	慢性硬膜下血腫	72例
開頭脳内血腫除去術	17例	脳血管内手術	87例
定位的脳内血腫吸引除去術	3例	その他	41例
合 計			262例/年

7. 学会認定施設

日本脳神経外科学会専門医研修プログラム参加施設

日本脳卒中学会認定一次脳卒中センター(PSC)

日本脳卒中学会認定研修教育施設

日本脳神経外傷学会 認定研修施設

専攻医の声



源吉 駿 医師

私は、脳神経外科専攻医1年目として豊岡病院に勤務しております。

豊岡病院では、救急医療、脳腫瘍、機能、脳血管障害等のさまざまな領域において豊富な症例数があり、熱心な指導医による指導を受けることができます。診療・手技(検査から治療まで)を上級医の先生の御指導の下にさせてもらうので、実践力が身につきます。まだまだ未熟ですが、ひとつずつ経験を重ねることで、できることも増え日々の診療にやりがいを感じています。また、豊岡病院には多くの診療科があり、専攻医も多いため、他科の分野で困ったことなどを、周囲の他科の専攻医の先生たち同士で気軽に相談できることも、豊岡病院ならではの魅力だと思います。

私生活で豊岡にきて思うことは、自然が豊かであるということです。夜に車を運転していると鹿によく出会います。病院は少し丘の上にあるため、朝霧、紅葉、雪景色等の景観を楽しむことができます。また、病院近くに飲食街もあるため、よく上級医の先生方や同期の仲間たちと飲みに行ったりもしています。休日には城崎温泉や京丹後、鳥取などに遊びに行ったりして充実した日々を送っております。

研修先に迷っている方は、ぜひ一度病院見学に来て、豊岡病院の良さを知って頂けると嬉しいです。

私は初期研修を終了後、2023年4月より神戸大学 脳神経外科に入局し、医局人事で専攻医1年目の10月から豊岡病院に着任しました。

豊岡は初めて訪れる場所でしたが、住めば都と言うように、想像していたよりは住みやすく、少し離れば自然がいっぱいで魅力的なところだと感じました。

当院の脳外科に関してですが兵庫県北部や京都府北部から患者様が搬送されます。そのため症例も多く、血管内治療、開頭手術、内視鏡手術など幅広い経験を行えます。また、専門医以上の先生が半分以上を占めており、指導体制も手厚いです。

職場の環境に関してですが、脳外科の先生はもちろんですが、救急科をはじめとする他科の先生方やコメディカルの方々も協力的で風通しの良い職場だと思います。

研修先として豊岡病院を考えている先生にはぜひおすすめです。一緒に働きましょう！豊岡病院での研修が決まった先生はぜひ脳神経外科をローテーションしてください。ご飯いしましょう！



池尾 諒介 医師